

平成26年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/> 評価対象 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了事業 <input type="checkbox"/> ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>					担当者	西澤悦郎
	全体計画		経費区分	-		内線	3781
事務事業名	4343 水防対策事業						
所 属	450100 消防本部・消防本部・消防署						
施 策	03021500 消防・救急体制の充実						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	090104 消防費・消防費・水防費					
	事業	010000 水防対策事業					
事業目的				事業概要・効果			
千曲川等の現地調査を行い重要水防箇所の把握及び水防活動方法を検討し、出水期を前に水防倉庫の点検及び管理委託を行い水防資機材を整備する				重要水防箇所の現地調査を関係機関と行い、協力体制を確認する。 水防資機材の点検を行い適正に整備する。			

PLAN-DO
年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
平成24年度 実績	平成25年度 実績
	市内重要水防箇所の現地調査、対応の検討 水防倉庫及び資機材の点検、維持管理
平成26年度 予定	平成27年度 予定
市内重要水防箇所の現地調査、対応の検討 水防倉庫及び資機材の点検、維持管理	

指標名	市内重要水防箇所の現地調査及び検討会の実施					
算式	開催の有無				単位	回
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
目標値	目標			1	1	
	実績		1			
指標選定の理由	関係機関との連携強化の継続のため					
最終年度目標の根拠	年度中1回以上実施					
指標名						
算式					単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式					単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成25年度 決 算	平成26年度 予 算
事業費		473	479
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		473	479
人員数(人)	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	0.0	0.0
市民一人当たりの経費		0.0	0.0
総額		473.0	479.0

(単位：千円)

平成25年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	199	重要水防箇所現地調査及び水防倉庫等の点検に対する出勤報償
11節 需用費	48	水防資機材
13節 委託費	27	水防倉庫管理委託
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	199	災害対応活動車両等の借上げ、水防工法用材料

(単位：千円)

平成26年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	199	重要水防箇所現地調査及び水防倉庫等の点検に対する出勤報償
11節 需用費	48	水防資機材
13節 委託費	27	水防倉庫管理委託
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	205	災害対応活動車両等の借上げ、水防工法用材料

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 千曲川等の重要水防箇所を関係部局合同で確認し、出水時期に備える 	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関が情報を共有し、過去の災害時においても連携した活動を実施している 	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 必要最小予算のなかで実施しており現状を継続する 	

振り返り（決算年度の取組み課題）
現地調査及び倉庫・資機材の点検を実施し、適正に事業遂行できた

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
関係機関との平常時からの連絡体制強化により、出水期の出動態勢整備		危険箇所などの現地調査及び資機材の点検補充をするとともに出動態勢の再確認をする。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	